

魚津市議会 令和7年12月定例会

2025/12/11、12/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
12 月 11 日	代表 1	15	関口 雅治 (代表) 【一括質疑】	村椿 市長	1 富山労災病院に対する支援について
					① 富山労災病院の赤字額はいくらなのか？又主な要因、患者数の推移、運営費用の内訳などについて市の認識を伺います。
					病院が提示した「病床機能転換計画」 ② 急性期病床の削減、回復期病床の倍増による黒字化の具体的な道筋や、この計画によって地域医療に与える影響について市の見解を伺います。
					③ 富山労災病院は地域の中核病院として存続するために、国や県そして労働者健康安全機構に対し要望などを行っていくのか伺います。
				村椿 市長	2 富山地方鉄道の今後の対応について
					(1) 富山地方鉄道の現状と課題について
					① 魚津市に関する区間の最新の利用者数や収支状況はどうなのか伺います。
					② 鉄道の老朽化の状況と、それに伴う維持・更新にどれだけの費用が掛かるのか伺います。
					(2) 魚津市の関与と財政支援について
					① 富山地方鉄道の存続の必要性について市の認識はどうなのか伺います。
					② 鉄道維持のため、市はどのような財政支援を考えているのか伺います。
					(3) 市民生活や地域経済への影響は
					① 富山地方鉄道が廃止になった場合の、通勤や通学、また地域経済への影響をどのように考えているのか伺います。
					② 富山地方鉄道の撤退、廃線になった場合の代替の交通手段をどのように考えているのか伺います。
				村椿 市長	3 今後の市政運営について
					今後、富山労災病院への支援、富山地方鉄道への支援の喫緊の課題が出てきました。魚津市は新庁舎建て替え、水族館の建て替え、学びの森運営、コミュニティセンター建て替え、又東部中学校、清流小学校などの建て替えにも影響がでるのではないのでしょうか伺います。

魚津市議会 令和7年12月定例会

2025/12/11、12/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
12 月 11 日	代表 2	6	石崎 一成 (代表) 【一問一答】	山瀬 教育長	1 GIGAスクール構想について
					① 本年、令和2年度に導入された学習用タブレット(1人一台端末)の一斉更新が行われた。更新後の利用状況について伺う。
					② 各校に配布されているオンライン配信用端末の利用状況について伺う。
					③ 授業の復習および自主学習について、タブレット端末はどのくらいの利用想定で運用しているのかを伺う。
				村椿 市長	2 鳥獣害対策と緊急銃猟について
					① 近年の本市における鳥獣害対策について、市長はどのように感じているのかを伺う。
					② 人口減少によって中山間地域では従来通りの活動が困難な状況となっており、里山境界が侵されることで一層の鳥獣被害が懸念されるが見解を伺う。
					③ 本年9月に緊急銃猟制度が整備された。一方で実施隊員の高齢化により銃砲所持者の激減が予測される。本市におけるツキノワグマ対策はどのようなスタンスで行なっていくべきと考えているかを伺う。
			舘 農林水産課長		④ 緊急銃猟においては、高い技能や経験が要求されることや、隊員が被害者にも加害者にもなりうるリスクが伴う。また、場合によっては職場からの急行といったことも想定されるが、対価はどのように見積もられるべきかを伺う。
					本年のような異常出沒への対応は平時からの情報収集が最も効果的と考える。ツキノワグマは縄張りを持たず、エサの状況と親子間の経験共有など過去の学習によって移動することが知られていることから、定期観測や重点調査などの取り組みはできないのかについて見解を伺う。
					本年、本市におけるツキノワグマの目撃や痕跡情報は、いわゆる放任果樹に由来しているものが多かったが、結果として誰の目に見ても明らかな変化の目視が有効と考えられる。放任果樹伐採に傾倒せず、目撃多発箇所の安全性の担保される箇所にある柿やナラ類およびブナ等の指標木を指定し、住民の協力を得たツキノワグマ対策もありうると考えるが、見解を伺う。
			舘 農林水産課長 (村椿 市長)		⑦ 緩衝帯やゾーニングといった取り組みが着目されている。造林事業の調査において採算を見込めないとされたエリアを活用する手立てはないのか見解を伺う。

魚津市議会 令和7年12月定例会

2025/12/11、12/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
12 月 11 日	個別 1	11	松倉 勇 (個別) 【一問一答】	松島 税務課長 (村椿 市長)	1 行政の補助金と固定資産税について
					① 観光庁の高付加価値補助金交付団体の認定を受け、R5、6年度にわたり総事業費11億円、補助対象施設は宿泊施設8件、観光施設9件等、合計19件で、国からの補助金五億円に加え市の上乗せ補助金一億六千万円を補助。この事業により、魚津市の宿泊施設や観光施設の高付加価値化が図られ、各施設は、必然的に、収支が改善し設備更新による資産価値も上昇、固定資産の評価も向上、本市の固定資産税の増収に繋がっているものと考えているか？
					② 私を知りえた件数を担当課に7月の早期に情報提供しました。情報提供した事案は、表示変更登記が、必要な案件が5件も該当し、担当課に於いて調査をされ、指導内容と措置は如何でしたか？
				村椿 市長	2 富山労災病院への支援について
					① 今後三年間に渡り六億円を上限として支援するとして、議会や市民に理解を求めるとしているが、議会については、どのように理解を求められるのか、市民に対してはどのような場で理解を求めるのか？
					② 新たな組織体制の整備が必要としているが、いつまでに内容を議会や市民に提示するのか？
					③ 補助金交付要綱(上限・対象・透明性確保)の策定が必要ではないか？
					④ 3年後に赤字が解消されない場合の対応も示すべきではないのか？
				山瀬 教育長	3 台湾と本市の交流提携について
					① 教育に関するMOUの締結に訪台されました山瀬教育長にその目的について伺います。
				高森 商工観光課長 (村椿 市長)	② 去る7月に民間事業者と本市のブースを板橋区サマーフェスティバル会場に出店しての台湾の皆さんの反応や反響は如何でしたか？
					③ 今後の方向性として、観光では、魚津市へのインバウンド誘客の加速と連携事業の定例化。 ④ 交流イベントの質の向上(販売計画、PR強化、現地パートナー開拓)MOU締結に基づく実務ロードマップ策定(KPI設定、担当窓口明確化)等、大変課題が山積していますが、今後改善すべき点や、今後の抱負や意気込みを語ってください。

魚津市議会 令和7年12月定例会

2025/12/11、12/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
12 月 11 日	個別 2	4	野村 明男 (個別) 【一問一答】	山瀬 教育長	1 第3期魚津市教育振興基本計画策定委員会について
					第3期魚津市教育振興基本計画の策定委員会2回目が開催された。
					① 学校のハード面やソフト面についてどのような内容や方向性が重点的に協議されるのか。
					② 今後さらに老朽化する校舎対策について第3期残り5年間で校舎統合・改築など、具体的に方向性を提示する考えがあるのか見解を問う。
				村崎 教育総務課長	2 学校の安全管理について
					学校の防犯カメラ設置数は小学校で3倍、中学校で2倍の開きがあり、新設校が多い傾向だった。
					① 今後の増設や修繕の計画について問う。
					② 増設場所はグラウンドや死角となる場所への防犯カメラ設置を優先すべきと考えるが見解を問う。
				入井 教育委員会参事	近年、全国的に教員のわいせつ・盗撮などの不祥事が問題となっている。
					③ 教員の私物スマホに関する現状のルールを問う。
					④ 児童生徒のプライバシー保護の観点から、教員や保護者の撮影制限やデータ管理は、どのようになっているのか。
				村椿 市長	3 天神山周辺環境整備について
					令和6年9月定例会で、市長から「天神山周辺の環境整備に取り組んでいきたい。」さらに「頂上の雑木の伐採や剪定を施し、景観を良くしていくことは必要である」と回答があった。
					① 天神山環境整備について、今後、具体的にどのような事業を、どのようなスケジュールで取り組む計画かを問う。
					② 行政と地元市民や団体が果たす役割を問う。
				石黒 副市長	4 観光施策について
					台湾と教育MOU観光MOUが調印され、イベントやPR等で関心を高めている。
					① アウトバウンドに向けた課題と対応を問う。
					魚津水族館で「寿司ネタライブ魚津水族館～泳ぐネタから握るネタ～」が開催された。
				田中 教育委員会事務局長	② 名称やノウハウを商標登録し、利用権料を徴取することが有益と考えるが見解を問う。
					5 新川学びの森天神山交流館の今後について
					(株)IMFが令和8年3月で契約を解除すると聞いた。
					① 魚津市として、今後の在り方をどのように考えているのか。

魚津市議会 令和7年12月定例会

2025/12/11、12/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
12 月 11 日	個別 3	2	寺口 俊光 (個別) 【一問一答】	高森 商工観光課長	1 観光振興について (1) 魚津市の観光行政について 世界旅行ツーリズム協議会の2023年の予測では、日本の旅行観光分野のGDP貢献度は約41.3兆円に達し、GDPシェアは約6.8%と見込まれており、今後ますます飛躍することが期待されているところです。当市では「第三次観光振興計画」が令和4年度から始まり、来年度で終了します。その上で以下の質問を伺います。 ① 第三次観光振興計画の進捗状況と最大の課題は？
					(2) 立山開山伝説と立山信仰について 立山開山伝説や立山信仰を観光資源に活かす方法について質問します。古代からの続く霊山立山信仰は現代でも続いており、伝説のスタート地である魚津市としての観光戦略について質問します。 ① 立山開山伝説と立山信仰をテーマとして伝説に縁深い魚津市を観光テーマにする体験型ツアー旅行を商品化する動きがある。市として支援策はないか？
					② 旅行商品作りに富山県や関係自治体との連携、またJRや宿泊先そして飲食店との連携も考えられますが、関係先との連携に魚津市ができることは考えられないか？
				石黒 副市長	
				小林 都市計画課長	2 所有者不明不動産問題について (1) 特定空き家等に対する固定資産税減免解除の影響について 空き家が「特定空き家」「管理不全空き家」として勧告された場合、住宅用地特例が適用されなくなり、固定資産税が増加(6倍?)することになり、空き家を所有するコストが増加している。 ① 空き家に対して、管理不全空き家にならないように助言や指導を行っているか？ ② 空き家解体費用に対する補助の執行状況は？
					(2) 相続登記義務化と相続土地国庫帰属制度について 相続登記の義務化がスタートし、相続案件が発生した場合、まず「相続するか」「相続しないか」という選択をするわけですが、相続登記の義務化後「相続しない」方が増えている傾向があると聞こえております。そこで3問伺います ① 空き家を相続するか、しないか悩む市民にとって相続放棄のメリット、デメリットと魚津市にとって相続放棄のメリット、デメリットは？ ② 相続登記義務化制度を市民により周知をはかるべきでは？ ③ 相続土地国庫帰属制度は地方にとっては課題が多い制度だ。政府に運用の見直しを要請すべきではないか？
				石黒 副市長	(3) 所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法(所有者不明土地法)について 土地所有者の探索に多大な時間、費用、労力を要するケースが増え、公共事業の進捗の遅れやコスト増が懸念されている。令和4年所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法(いわゆる所有者不明土地法)が改正された事を受け、魚津市や魚津市民に与える影響について質問します。 ① 所有者不明土地の定義と法改正の影響は？ ② 特措法による所有者不明土地を適切に管理する仕組みが魚津市に与えるメリットとデメリット？ ③ 特措法による所有者不明土地を円滑に利用する仕組みが魚津市に与えるメリットとデメリット？
					④ 今回の特措法の「適切に管理する仕組み」「円滑に利用する仕組み」を経田地区のまちづくりやその他公共事業に活用できないか？
					(4) 所有者不明土地問題に関わる調査業務の一元化について 行政機構の改革案では税務課に1名を増強し、調査機能を拡充するとの事です。この所有者不明土地問題で影響を受けている課は固定資産税を扱う「税務課」、空き家問題を扱う「都市計画課」、不法投棄ゴミ問題や雑草問題で苦しむ、「生活環境課」、地籍調査や公共事業に携わる「建設課」、耕作放棄地問題を抱える「農林水産課」、また管財業務に係わり係争案件も抱える事になった「財政課」と多岐にわたります。そういう観点で2問質問させていただきます。 ① 戸籍調査や相続調査する上で、各課、各市町村で手順や判断が統一されていないのでは？富山県統一マニュアルを作るべきと考えて、富山県に要望すべきではないか？ ② 適法であれば、庁内各部局から戸籍や相続調査等の依頼を受け、調査業務を担う専門部署を設置し、重複業務の一元化を図る事ができればより効率的になると考えますが、いかが
				西川 産業建設部次長	
				村椿 市長	
				石黒 副市長	

魚津市議会 令和7年12月定例会

2025/12/11、12/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
12 月 11 日	個別 4	5	島田 修 (個別) 【一問一答】	山瀬 教育長	1 新川学びの森天神山交流館について
					① 文化活動・地域教育の施設について 新川学びの森天神山交流館について、地域文化・教育・国際交流の場として県外からも多くの利用者がある文化施設が新川地区の魚津市にあることをどう考えられていますか？ 関係人口も文化施設としては大変貢献していると思います。
					② 文化振興について 令和7年度末をもって(株)IMFが撤退されると聞いていますが、新川学びの森天神山交流館は今まで文化振興の拠点になってきました。今後、魚津市として文化振興をどう考えていますか？
					③ 文化施設の中長期的な考え方について 文化振興に関する計画や指針を策定する考えはありますか？その検討にあたり、市民や民間の文化団体の意見をどのように反映していくのですか？
				山本 生涯学習・スポーツ課長	④ (株)IMFとの契約は (株)IMFとの契約は10年間となっていると聞いていますが、6年前倒しでの契約解除になります。この経過について詳しく教えていただけますか？また、市民に対して今後どのように説明する予定ですか？
					⑤ 施設の復元について 撤退される事になれば、施設を返還される際には、IMFの負担で原状回復されるのでしょうか？
				村椿 市長	⑥ 施設の存続について 令和8年度にプロポーザルで利用者を募集されるとのことですが、もし決まらなかった場合、令和9年以降施設の存続についてどのように考えていますか？
				窪田 民生部長	2 子ども・子育て支援金制度等について
					① 子ども・子育て支援金制度とは 令和8年度より、国は子ども・子育て支援金制度が開始されますが、どのような制度内容なのですか？
					② 支援金の徴収について 財源の支援金はどのように徴収されるのですか？また、支援金の徴収はいつから開始になりますか？
					③ 後期高齢者の負担について 市は後期高齢者医療制度の負担増について、市民への周知や相談体制をどのように考えていますか？
					④ 低所得者の対応について 低所得者への対策はどのように考えていますか？
					⑤ 国民健康保険の余剰金について 国民健康保険事業で魚津市は余剰金を基金として積み立てていますが、この余剰金についてどのように考えているのですか？
				小林 都市計画課長	3 オンデマンド交通について
					① 登録者の状況 オンデマンド交通の「チョイソコうおづ」の実証実験が11月から開始されましたが、登録者数の状況をお聞かせください？
					② 実証実験の利用状況と問題点等は 12月からは「チョイソコうおづ」の時間帯は西部地区の各ルートの市民バスは走らなくなります。 11月の「チョイソコうおづ」の利用状況と問題点をお聞かせください。

魚津市議会 令和7年12月定例会

2025/12/11、12/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
12 月 12 日	個別 5	3	大城 章仁 (個別) 【一問一答】	山本 生涯学習・スポーツ課長	1 旧十二銀行魚津支店(米倉)について
					① 取得時における旧十二銀行魚津支店(米倉)の保存状況について問う。
					② 令和8年2月末までの無償貸与の必要性および法的根拠について問う。
					③ 国の文化財指定を受けるのに要する平均的な年数、および本市の米倉が指定を受ける可能性について問う。
					④ 現時点で当局がイメージしている利活用方法、およびスケジュール前倒しによる早期検討の可否について問う。
					⑤ 当局が想定している利活用主体(指定管理者、地域振興会など)について問う。
					⑥ 過渡的対応として、県または市の文化財指定の可能性について問う。
				館 防災危機管理室長	2 火災対策について
					① 平成28年糸魚川市大規模火災や先の大分市佐賀関大規模火災についてどのようなことが教訓として考えられるか。
					② 本市における空き家の火災対策、および今後の取り組みについて問う。
				館 総務部次長	3 会計年度任用職員について
					① 本市における会計年度任用職員の意義と課題について問う。
					② 会計年度任用職員の再任用手続きはどのようにしてるか。

魚津市議会 令和7年12月定例会

2025/12/11、12/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
12 月 12 日	個別 6	1	宮坂 昌利 (個別) 【一問一答】	村椿 市長	1 行政経営方針について
					① 重要施策の1つである「安心・安全な暮らしを守り子どもを地域全体で育てるまちの実現」を目指すために、具体的に保育・教育の質的向上や経済負担の軽減についてどのような施策を計画していますか。
				池川 健康センター所長	2 帯状疱疹及び帯状疱疹後神経痛(PHN)について
					① 帯状疱疹後神経痛(PHN)とはどのような後遺症があると認識していますか。
					② 帯状疱疹及び帯状疱疹後神経痛(PHN)についてホームページ・医療機関ポスターなどに分かりやすいように、情報提供をもっとやっていくべきだと考えますが、見解を問う。
				前田 こども課長	3 病児病後児保育について
					① 県内自治体でオンライン予約を導入している事例を市では把握されていますか。
					② オンライン予約を含め、本市の利便性向上に向け課題と対策を伺います。
					③ 昼食の標準的な提供(または有料オプションとしての提供)を行い、アレルギーや病状に応じた食事提供体制を確保すべきであると考えるが市の見解を問う。
				舘 総務部次長	4 成果連動型民間委託(PFS)について
					① 国(内閣府や総務省)では、地方自治体へのPFS導入を推進していますが、本市として情報収集や検討を行っていますか。
					② 本市の課題解決において、PFSが活用できそうな分野はあると考えますか。
					③ PFSは、成果が出た場合のみ成果報酬を支払う仕組みですが、成果指標の設定や民間事業者との契約条件が厳しいとも言われます。市として、リスクや課題をどのように考えますか。
					④ 今後、PFS導入に向けて調査・研究を進める考えはありますか。

魚津市議会 令和7年12月定例会

2025/12/11、12/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者		
12月12日	個別 7	14	中瀬 淑美 (個別) 【一括質疑】	村椿 市長	1 物価高騰対策について	
					① 重点支援地方交付金の活用方針と、市民へ支援が届く時期はいつか。	
					② 低所得者に限らず、中間層、高齢者、子育て世帯などへの追加支援を検討しているか。	
					③ 給付のみで終わらず、効果検証を行い、継続的な物価高騰対策につなげる考えはあるか。	
				窪田 民生部長	2 持続的で安定的な介護サービスにむけて	
					① 介護人材・介護事業者双方を支える市の具体的な取り組みは	
					② ケアマネジャーの登録更新料金(法定研修費等)への支援についての市の方針について。	
					③ 現場で働く介護職員や事業者の声を、施策に反映させるための今後の取り組みは。	
				窪田 民生部長	④ 高齢者の衛生管理と介護負担軽減に寄与する、「介護脱毛」への支援導入について	
						3 子育て支援について
						① 0歳から2歳児への継続的なおむつ支援事業の(現物支給を含め)導入について。
						② 公共施設や市内事業所への搾乳マークの導入について。
				池川 健康センター所長	③ 今年度の5歳児健診の進捗状況と市の考えについて。	
					④ 開始時期と実施方法は。	
				舘 防災危機管理室長	4 防災体制強化とDIG訓練の推進について	
					① 市職員へのDIG訓練の実施状況と今後の方針について。	
					② 上中島・本江地区、14歳の挑戦で実施されたDIG訓練の評価について。	
					③ 若年層・子育て世代の参加促進策(託児サービス、夜間・休日開催等)の計画と市全体で全年齢対象とするロードマップの目標時期は。	
				舘 防災危機管理室長	④ DIG訓練の成果を避難訓練など実践的防災訓練と連携推進について。	
					米島 生活環境課長	5 防犯カメラ等の設置について
				① 防犯カメラやセンサーライト、防犯インターホンなど防犯機器の導入に対し、購入および設置費用の一部を助成する制度の検討について問う。		
				② 高齢者世帯・一人暮らし世帯・子育て世帯など個人宅への防犯カメラ補助の導入をどのように認識、検討しているか問う。		

魚津市議会 令和7年12月定例会

2025/12/11、12/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
12 月 12 日	個別 8	13	浜田 泰友 (個別) 【一問一答】	村椿 市長	1 令和8年度行政経営方針について
					① 重点的に取り組む施策のうち、新年度から新たに位置付ける施策は何か。
					② アウトソーシングや民間活用について、本年度の方針では記載が見られないが、どのように位置付けているのか。
					③ 予算要求基準において、物価上昇分が十分に見込まれていないのではないか。市の認識を問う。
				宮崎 総務部長	2 市役所業務改革について
					令和8年度より、市では組織機構等の見直しを実施する。
					① 組織機構見直しの狙いは何か。
					② 公共施設再編推進室について、今後の公共施設整備や公共施設マネジメントのノウハウを蓄積する組織として、現状維持ではなく改組・強化すべきではないか。
					③ アウトソーシングや民間活用を進めるにあたり、契約・法務面での課題がある。どのように取り組むか。
			江田 DX推進室長		第5次総合計画第12次基本計画では、重点施策として「デジタル技術の活用等」を明記し、個別施策に「DXの推進」を追加した。
					④ DXによる業務効率化・省力化、利便性向上にどのように取り組むか。また、全庁的な意識改革をどのように進めるのか。
					⑤ 生成AIのRAG(検索拡張生成)機能活用について、市としてどのように考えているか。
			石黒 副市長		市ではDXの一環として令和5年より書かない窓口システムを導入している。本年は窓口BPR(業務改革)の取組として、職員が来庁者視点で窓口利用を体験し、改善点を提案した。
					⑥ 職員の提案を受け、今後どのように改善に取り組むのか。
					⑦ 職員が現金を取り扱わない体制づくりについてどのように取り組むか。
					⑧ 県外自治体では、窓口時間を短縮して効率化を図る取組みが進んでいる。本市としてどのように考えるか。
			石黒 副市長		3 新庁舎整備について
					① 新庁舎の設計者が決定し、技術提案書が示された。選考にあたりどのような点が評価されたのか。
					② 議会はこれまで、シンプルでコンパクト、かつランニングコストが抑えられる庁舎を求めてきた。今回の提案を踏まえ、市の見解を改めて問う。
			松木 新庁舎整備室長		③ 新庁舎整備基本設計・実施設計業務委託料が900万円増額され、オフィス環境計画に取り組む方針が示された。概要について問う。
			赤坂 産業建設部長		4 空き家対策と狭あい道路解消について
					① 歩道へ影響を及ぼしている空き家の実態を把握しているか。
					② 狭あい道路の解消に向けて、空き家対策との連携も含め、どのように取り組む考えか。
					③ 空家等活用促進区域事業への取り組みについて、導入の考えがあるか。

魚津市議会 令和7年12月定例会

2025/12/11、12/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
12 月 12 日	個別 9	10	岡田 龍朗 (個別) 【一問一答】	石黒 副市長	1 富山労災病院について
					① 富山労災病院に6億円の財政支援をすることとしているが、その経緯、目的理由を問いたい。
					② 富山労災病院への財政支援は3か年限定期間とするのか。
					③ 国の助成制度として、公立病院を含め、病院に対する助成制度はないのか。
					④ 富山労災病院は、再建計画の中で36床の病床削減があるが、回復期と急性期での病床削減補償について、1病床当たりの補償額、その補償総額はどれくらいか。
					⑤ 魚津市は富山労災病院への運営支援として、「地域医療支援室」を設置した。富山労災病院はプロジェクトチームのような体制はあるのか。
				山本 生涯学習・スポーツ課長	2 部活動地域展開について
					教員の部活動指導における負担軽減、少子化による生徒の減少傾向に対応すべき目的としている。
					① 2023年度から段階的にはじまり2026年度から改革実行期間としているが、魚津市の部活動地域展開について、現状はどうか。
					② 部活動の指導者不足が懸念されていた。どのような対応となっているのか。
					③ 教員の部活動の過重負担となっていた土、日曜の部活動指導があったが、廃止となっているのか。その対応はどうしているのか。
					④ 部活動地域展開について、どのような国の支援制度があるのか。
				山本 民生部次長	3 医療と介護について
					① 高齢者はいつか介護が必要となるのではと思っている。介護認定を受ける人の推移はどのようになっているか。
					② 介護認定者の介護ケアプラン作成の費用はいくらか。
					③ 介護保険料の見通しをどう捉えているのか。
					④ 心身のケアに繋がる介護教室等への参加する男性が少ないように思うが、何か工夫が考えられるか。
				舘 農林水産課長	4 農業について
					① 新しい農業の在り方として、ソーラーシェアリング(営農型太陽光発電)があるが、魚津市での可能性はどう考えられるか。
					② 県内で行われている事例はあるのか。

魚津市議会 令和7年12月定例会

2025/12/11、12/12

日	順番	番号	質問者	答 弁 者	
12 月 12 日	個別 10	16	越川 隆文 (個別) 【一括質疑】	村椿 市長	1 ふるさと納税業務について
					魚津市観光まちづくり会社の現状と課題について ① 設立から現在までの運営状況及び資金状況を市はどのように分析しているか。また、今後の経営安定化に向けた具体的な支援策やビジョンをどのように描いているか伺う。
					② ふるさと納税業務の運営体制について 現在の企画政策課による直営体制における課題(職員の事務負担、商品開発の限界等)をどのように認識しているか。
					ふるさと納税業務のまちづくり会社への移管について 全国の先進事例では、DMOや地域商社(まちづくり会社)がふるさと納税の中間管理業務やプロモーションを一括受託し、その委託料を原資として地域活性化事業を展開するモデルが成功を収めている。本市においても、ふるさと納税のハンドリング及び事業企画業務を「魚津市観光まちづくり会社」へ移管・委託することで、同社の安定的な収益源を確保し、同時に民間の視点を活かした戦略的なシティプロモーションを行うべきと考えるが、市長の見解を伺う。
				窪田 地域医療支援室長	2 富山労災病院支援策について
					富山労災病院の経営状況と市の支援について 令和6年度決算における約7億円の当期純損失という結果をどう受け止めているか。また、3年間で6億円という支援額の妥当性について、市民への説明責任をどう果たすのか。 令和元年に指摘した、黒部市民病院との競合によるマーケティング上の不利な状況が、新病院建設後も改善されていない現状に対する認識は如何か。
					病院再建の見通しと経営改革について ② 労働者健康安全機構が進める改革によって、富山労災病院の再建は具体的にどのような道筋で達成され则认为しているか。 持続可能な経営を実現するためには、損益分岐点をどこに見出し、どのような経営改革(病床機能の転換、診療科の再編、職員の意識改革など)が必要不可欠と考えるか。
				村椿 市長	③ 国の施策と魚津市の地域医療の将来について 国が推進する地域医療構想や医師の働き方改革が、事実上、地方の中小総合病院の淘汰に繋がるとの認識はあるか。 少子高齢化の進展と社会保障費の抑制という厳しい社会情勢の中で、本市の中核病院である富山労災病院の恒久的な存続と、市民が安心して暮らせる地域医療体制の確保について、市長の明確なビジョンを問う。
				村椿 市長	3 富山地方鉄道廃線問題について
					駅舎改修と経済効果及び地域活性化について ① 電鉄魚津駅・西魚津駅の改修計画(仮称:あいの風とやま鉄道魚津城址駅と魚津水族館駅)と、それに伴い試算される経済効果(一例:投資回収期間3.6年、10年間で72億円)に対する市の見解、及びこれを起爆剤とした地域活性化策の全体像についてどう考えるか。
					あいの風とやま鉄道の役割と直通運転の実現について ② 富山地方鉄道の代替機能を担うあいの風とやま鉄道との連携強化、特に宇奈月温泉駅までの直通運転実現に向けた、市の主体的役割と具体的な交渉・調整の工程表について問う。
					魚津市内の駅舎数と交通ネットワークの最適化について ③ あいの風とやま鉄道との連携を前提とした、市内における駅舎数の最適化(新設・統合・廃止)に関する市の基本的な考え方と、市民の利便性を確保する交通ネットワーク全体の将来像について問う。